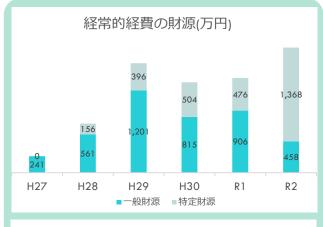
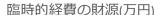
社会教育課

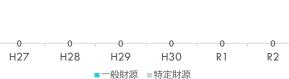






普通建設事業費の財源(万円)





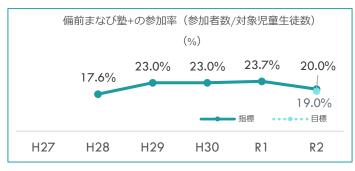
現状と課題

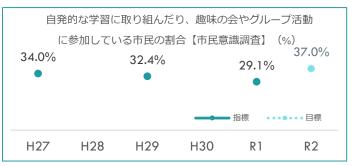
生涯学習の成果を発揮し地域に還元する場として、学校支援地域本部(※)、備前まなび塾+(※)があり、多くの市民が地域、家庭、学校、NPO等との連携のもと、教育支援ボランティアとして参画しています。また、子どもの読書活動を推進するため、市内の読み聞かせボランティア等も活発に活動を行っています。

今後はボランティア間のネットワークづくりや資質向上のための研修、さまざまなボランティアをつなぐコーディネーターの養成が必要となります。

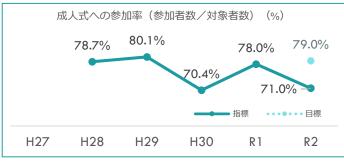
- ※学校支援地域本部:学校の求めに応じて地域の方々等が授業や環境整備、登下校の見守り活動等を行う事業
- ※備前まなび塾+:2つの講座(土曜・長期休業中講座、体験活動講座)からなる子どもたちの週末等支援事業

成果指標









指標の説明・・・

備前まなび塾+の参加率や、市民が自身の生涯学習成果を発揮できる機会を指標とし、教育支援活動の場の充実を図ります。

課題に対する主な取組

課題	課題に対する主な取 組	概要	臨経 区分	予算執行 (万円)	特定財源 (万円)	アウトプット (どのくらいの事業や取組 を行ったか)	アウトカム (どれだけの成果が得られた か)
教育の機会充実	備前まなび塾+土曜日・ 長期休業講座事業	公民館にて、小中学生対象の学習支援活動	臨時的経費	271万円	181万円	実施回数:9公民館×各20回 程度	参加率20%(登録者314名[対象 児童1,511名])
教育の機会充実	備前まなび塾+体験活動 講座事業	小中学生対象に体験活動講座	臨時的経費	339万円	30万円	実施回数:26回(5講座)	参加者総数379名
地域と学校の密なる関係づ くり	備前市中学生だっぴ	中学生と大人の意見交流会	経常的経費	100万円	_	実施回数: 3 回(3中学校× 各1回)	参加者数:中学生119名、大学生 77名、大人88名
教育の機会充実	夜間まなび直し事業	小中学校の学び直し	臨時的経費	115万円	115万円	実施回数:12回(9月~2月)	参加者数14名
地域と学校の密なる関係づ くり	学校支援地域本部事業	地域学校協働活動の推進	臨時的経費	236万円	157万円	11校(9本部)にて実施	ボランティア参加者数2,500名
教育の機会に関する援助	奨学資金貸与事業	就学意欲のある学生に対する経済的なサポート	経常的経費	1,368万円	1,368万円	市奨学金利用者数:29人	大学等への就学率 (R2指標なし)
若い世代の人口減少	定住促進奨学金補助事 業	定住を目的として奨学生に対する補助金交付	_	o	_	申請者数:18人	補助金交付対象者定住率 (R2指標なし)
薄れる郷土愛の醸成	成人式	成人式の開催	経常的経費	50万円	_	成人式参加者数:263人	成人式参加率:71%

施策の評価

NEDICODI IM		> p 1 1 m					
一 次	役職	社会教育課長	学金制度については、時限的な給付金制度の創設、引き続き定住促進奨学金返還補助制度による奨学金の返還金補助により、学生の支援を図りましょう。大人か 『もまでが、「だっぴ」事業などを通じて、まちの未来を真剣に議論するような場を積極的に増やしましょう。地域全体での教育支援に向けた地域学校協働本部の活動と				
評 価 者	氏名	波多野 靖成	並行して学校運営協議会の設立を検討しましょう。「備前まなび塾+」では、タブレット端末のソフト利用や漢字検定の推進を図り、参加者が自主的な学習がより身につくように努めていきたい。				
二次評価者	役職	教育部長	令和2年度、コロナ禍にあったものの多くの関係者の理解と協力に支えられ、各事業を実施し次年度につなぐことができた。 本施策は、市民が生涯学習の成果を発揮し、地域への還元機会となるよう各事業を行っている。より多くの市民がそこに主体的にかかわることで、さらに学びへの興味を深め、				
	氏名	石原 史章	楽しさと喜びを享受できる機会となれば、持続性を持った循環活動として定着することが期待されます。 そのためにも、今後、各事業内容と成果の周知とともに、各事業を通じた横断的なネットワークづくりと、キーマンとなるコーディネーターの養成に取り組まなければならない。				